

定番コレクション、ポートフィノの誕生

1984年に発売されたポートフィノは、IWCシャフハウゼンでも屈指の好評を博したシリーズとなりました。このエレガントなモデルは、1950年代と60年代にIWCがつくったクラシックな丸型ゴールドウォッチにインスピレーションを得ています。

ポートフィノのストーリーの出発点となったのは、「ムーンフェイズを搭載した懐中時計のレピーヌを、腕時計に変えたらどうだろうか」という、単純な、しかし驚くべきアイデアでした。IWCシャフハウゼンの主任時計技師クルト・クラウスと設計部長ハノ・ブルチャーが、ワインを飲みながら思いついたのです。このとき、ブルチャーはナブキンの上に、ラグの付いた懐中時計のケースの絵を描いたと伝えられています。最初のポートフィノが誕生した瞬間です。

このアイデアは適切で、タイミングもよかったことが、のちに証明されます。1980年代、IWCの製品ラインナップの主力となっていたのは、スポーティでエレガントなSLコレクションとIWCパルシェ・デザインのウォッチでした。しかし、当時のIWCの営業&マーケティング部長ハネス・パントリは、クラシックなゴールドウォッチの需要が高まっていることを理解していました。そこで、クラシックなモデルをポートフォリオに取り込み、それを新しい製品ファミリーにまとめることが決定されました。

この新しいファミリーは「ポートフィノ」と名づけられました。ポートフィノは、自家用飛行機で世界を飛びまわる富裕層が休暇を過ごす場所として1950年代に有名になった、イタリアの海岸沿いの村の名前です。ポートフィノの特徴は、クラシックな丸型デザインです。文字盤は非常に優美で、アワーマーカ、12時位置と6時位置のローマ数字、そして細いリーフ針を備えています。

1984年の最初のコレクションの中心となったのは、**ポートフィノ・ハンドワインド・ムーンフェイズ** (Ref. 5251) でした。46 mmケースに収められ、懐中時計用のムーブメント、キャリバー9521を搭載していたので、ふざけて「ポケット・リストウォッチ」（懐中腕時計）と呼ばれました。しかし、このコレクションには、女性用にデザインされた小型のモデルも多数つくられました。たとえば、リファレンス4531は、ケース直径わずか25 mmの繊細な18Kイエローゴールド製レディース・ウォッチでした。

その後、1988年、クロノグラフ機構を組み込んだ初のポートフィノが発売されました。クォーツ・ムーブメント、キャリバー631を搭載した、**ポートフィノ・クロノグラフ・クォーツ** (Ref. 3731) です。この技術的に画期的なムーブメントは、2個のクォーツ式ステッピング・モーターと機械式クロノグラフ、およびアナログ式の時刻&カウンター・モジュールを組み合わせたものです。これは29 mmの「レディース・クロノグラフ」のバージョンも発表されました。現在、このクロノグラフの伝統は、42 mmの**ポートフィノ・クロノグラフ** (Ref. 3910) と39 mmの**ポートフィノ・クロノグラフ 39** (Ref. 3914) に受け継がれています。

1993年、**ポートフィノ・ハンドワインド** (Ref. 2010) がコレクションに加わりました。厚さわずか1.85mmの手巻きムーブメント、キャリバーH/849を搭載したこのモデルは、これまでにIWCが製造した腕時計の中でも最も薄いコレクションに属します。

2003年、コレクションが拡充され、直径38 mmの大型バージョンの**ポートフィノ・オートマティック** (Ref. 3533) が加わりました。この直接の後継モデルが40 mmの**ポートフィノ・オートマティック** (Ref. 3565) で、これは現在、ポートフィノの中でも非常に人気のあるコレクションとなっています。

2011年のポートフィノ・コレクションで話題をさらったのは、直径45 mmの**ポートフィノ・ハンドワインド・エイトデイズ** (Ref. 5101) でした。これはIWC自社製ムーブメント、キャリバー59210を搭載し、8日間のパワーリザーブを備え、伝説的なモデルとなりました。2017年には、1984年の初代ポートフィノを受け継ぐべく、ムーンフェイズを組み込んだバージョンも発表されました。

2014年、IWCはミドルサイズの直径37 mmのポートフィノ・コレクションを導入しました。カラフルなこの一連のモデルには、ダイヤモンドがセッティングされ、イタリアの製靴メーカー、サントーニ社製のカラー・レザー・ストラップが組み合わされています。その後、2019年、スイスの高級時計メーカーIWCは、魅力的な34 mmのポートフィノ・

レディース・コレクションを発表しました。この女性らしく洗練されたウォッチの数々は、1980年に好評を博したポートフィノのレディース・ウォッチを現代によみがえらせています。

2022年も、このコレクションにとって重要な節目となり、魅力的なデイ&ナイト複雑機構を搭載した**ポートフィノ・オートマティック 34 デイ&ナイト**を含む、洗練さを高めた**ポートフィノ・オートマティック 34** レディース・コレクションを発表することになりました。また、**ポートフィノ・オートマティック 37**と**ポートフィノ・オートマティック・ムーンフェイズ 37**も徹底的にアップデートしました。この2つのモデルは、IWC自社製ムーブメント、キャリバー32000ファミリーを搭載し、サファイアガラスの裏蓋からは、ゴールドメッキのローターとブルー仕上げのネジを用いて入念に仕上げられたムーブメントを眺めることができます。

このコレクションのウォッチは、すべてカーフスキン・ストラップまたは現代的でラグジュアリーな美しさを備えた新開発の5リンク・メタル・ブレスレットが組み合わされることとなります。

IWCシャフハウゼン

IWCシャフハウゼンは、スイス北東部のシャフハウゼンに拠点を置く、スイスの大手高級時計メーカーです。ポルトギーゼやパイロット・ウォッチなどのコレクションを擁するこのブランドは、エレガントな時計からスポーツ時計まで、あらゆる種類の時計を扱っています。1868年、米国の時計技師でエンジニアでもあったフロレンタイン・アリオスト・ジョーンズが設立したIWCは、人間ならではの職人技と創造性、その最良の部分と最先端の技術および工程とを組み合わせ、時計製造に対する独自のエンジニアリングで知られています。

150年以上にわたる歴史の中で、IWCは精巧かつ丈夫で使い勝手のよいプロ仕様の計器時計や、複雑機構（とりわけクロノグラフとカレンダー機能）を組み込んだ時計をつくり、高い名声を得てきました。チタンやセラミックの採用の先駆者であるIWCは、現在、カラーセラミック、セラタニウム®、チタンアルミナイドなどの先進的な素材を用いた、高度なエンジニアリングと専門知識を駆使したケースも製造も行っています。

持続可能な高級時計の第一人者であるIWCは、責任をもって素材を調達し、環境への影響を最小限に抑えるための努力を惜しみません。透明性、循環、責任という3つの柱に沿って、このブランドは何世代にもわたって長持ちする時計をつくり、責任をもって製品を製造、流通、修理するためのあらゆる要素を継続的に改善しています。さらに、IWCは子供たちと青少年への支援に向けて世界的に活動している組織とも提携しています。

ダウンロード

画像はpress.iwc.comで無料でダウンロードいただけます。

お問い合わせ

IWCシャフハウゼン

広報部門

Email press-iwc@iwc.com

Website press.iwc.com

インターネットおよびソーシャルメディア

Website iwc.com/ja

Facebook facebook.com/IWCWatches

YouTube youtube.com/iwcwatches

Twitter twitter.com/iwc

LinkedIn linkedin.com/company/iwc-schaffhausen

Instagram instagram.com/iwcwatches_jp

Pinterest pinterest.com/iwcwatches